

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 8 月 6 日 (2009.8.6)

【公表番号】特表 2005-515032 (P2005-515032A)

【公表日】平成 17 年 5 月 26 日 (2005.5.26)

【年通号数】公開・登録公報 2005-020

【出願番号】特願 2003-561665 (P2003-561665)

【国際特許分類】

A 6 1 M 5/168 (2006.01)

A 6 1 M 5/14 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 5/14 4 0 9

A 6 1 M 5/16

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 21 年 6 月 18 日 (2009.6.18)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

静脈内流量調整装置において、

(a) 静脈内流体源 (12) に接続可能の入口 (32) と、投与手段に接続可能の出口 (64) とを有し、計測オリフィス (50) を有する計測ポートを画成するハウジング (28、31) と、

(b) 前記計測オリフィス (50) を横切って伸びる可撓性の弁部材 (120) と、

(c) 前記計測オリフィス (50) を通る所定の流量を確立すべく前記可撓性の弁部材 (120) と協働し、標識 (180) を有し且つ手動により回転可能なダイヤル (140) を含む制御手段 (110、140) と、

(d) 水頭圧力の変化に応答して、出口オリフィス (70) を横切って出口 (64) へ至る流体の流量を制御し、前記所定の流量を保つ可撓性の制御部材 (80) と、

(e) 前記ダイヤル (140) の外方端部に近接して配置されたインジケータ (146) であって、該ダイヤル (140) 上の前記標識 (180) と協働して、前記調整装置の流量設定を表示する前記インジケータ (146) と、

を備える、静脈内流量調整装置。

【請求項 2】

請求項 1 の静脈内流量調整装置において、前記可撓性の制御部材 (80) が、環状縁部 (84) と、該環状縁部により画成された領域を横切って伸びる薄い制御部分 (86) とを有する、静脈内流量調整装置。

【請求項 3】

請求項 2 の静脈内流量調整装置において、前記薄い制御部分 (86) が、約 0.318 mm (. 0 1 2 5 インチ) から 0.445 mm (. 0 1 7 5 インチ) の範囲の厚さを有する、静脈内流量調整装置。

【請求項 4】

請求項 1 の静脈内流量調整装置において、前記薄い制御部分 (86) が、約 0.394 mm (. 0 1 5 5 インチ) の厚さを有する、静脈内流量調整装置。

【請求項 5】

請求項 1 の静脈内流量調整装置において、前記可撓性制御部材（ 8 0 ）が約 5 5 のデュロメータ硬さを有する、静脈内流量調整装置。

【請求項 6】

請求項 1 の静脈内流量調整装置において、前記可撓性弁部材（ 1 2 0 ）及び前記可撓性制御部材（ 8 0 ）が、シリコンである、静脈内流量調整装置。

【請求項 7】

請求項 1 の静脈内流量調整装置において、前記制御手段（ 1 1 0 ）がねじ手段（ 1 1 0 ）である、静脈内流量調整装置。

【請求項 8】

請求項 7 の静脈内流量調整装置において、前記ねじ手段（ 1 1 0 ）が左巻きねじを有する、静脈内流量調整装置。

【請求項 9】

請求項 7 の静脈内流量調整装置において、前記ねじ手段（ 1 1 0 ）が約 4 8 のピッチを有する、静脈内流量調整装置。

【請求項 1 0】

請求項 7 の静脈内流量調整装置において、前記ねじ手段（ 1 1 0 、 1 0 6 ）が所定のねじピッチを有し、該ねじピッチは、前記ダイヤル（ 1 4 0 ）が前記計測オリフィス（ 5 0 ）の遮断位置から完全開放位置まで約 3 6 0 度だけ回転したときに前記可撓性弁部材（ 1 2 0 ）を前記計測オリフィス（ 5 0 ）を遮断する位置から開放する位置まで移動させることを可能とする、静脈内流量調整装置。

【請求項 1 1】

請求項 1 の静脈内流量調整装置において、前記ハウジングから伸びたストッパ（ 1 6 0 ）であって、前記ダイヤルに支持された第 1 のリッジ（ 1 5 2 ）に係合して、前記計測オリフィス（ 5 0 ）の遮断位置及び完全開放位置を画成する前記ストッパ（ 1 6 0 ）を更に有する、静脈内流量調整装置。

【請求項 1 2】

請求項 1 1 の静脈内流量調整装置において、前記ダイヤルに支持され第 2 のリッジ（ 1 5 0 ）であって、前記ストッパ（ 1 6 0 ）に係合されたときに前記計測オリフィス（ 5 0 ）の K V O（静脈開放保持）位置を画成する前記第 2 のリッジ（ 1 5 0 ）を更に有する、静脈内流量調整装置。

【請求項 1 3】

請求項 1 2 の静脈内流量調整装置において、前記第 2 のリッジ（ 1 5 0 ）は前記第 1 のリッジ（ 1 5 2 ）よりも低く、且つ前記第 2 のリッジ（ 1 5 0 ）と第 1 のリッジ（ 1 5 2 ）との間に、前記遮断位置において前記ストッパ（ 1 6 0 ）が着座するランド部（ 1 5 4 ）を画成する、静脈内流量調整装置。

【請求項 1 4】

請求項 1 1 の静脈内流量調整装置において、前記ストッパ（ 1 6 0 ）は前記指示器（ 1 4 6 ）に整合されている、静脈内流量調整装置。

【請求項 1 5】

請求項 1 の静脈内流量調整装置において、前記ダイヤル（ 1 4 0 ）が前記ハウジング（ 2 8 、 1 3 ）の直径に約等しい直径を有する、静脈内流量調整装置。

【請求項 1 6】

請求項 1 の静脈内流量調整装置において、前記手動により回転可能な制御ダイヤル（ 1 4 0 ）が、ダイヤル（ 1 4 0 ）を回したとき、本体における突起部（ 1 6 6 ）と協働して、ユーザに対し触覚的なフィードバックを提供する周縁切欠き（ 1 6 4 ）を有する、静脈内流量調整装置。

【請求項 1 7】

請求項 1 の静脈内流量調整装置において、前記ハウジング（ 2 8 、 3 1 ）が、前記可撓性制御部材（ 8 0 ）の環状縁部（ 8 4 ）に係合可能な封止リッジ（ 8 8 、 8 9 ）を有する、静脈内流量調整装置。

【請求項 18】

請求項 1 の静脈内流量調整装置において、前記入口 (32) は前記ハウジング (28、31) に対して所定の角度をなして配置されている、静脈内流量調整装置。

【請求項 19】

請求項 1 の静脈内流量調整装置において、前記入口 (32) は前記ハウジング (28、31) から上方へ且つ外方へ伸びている、静脈内流量調整装置。

【請求項 20】

請求項 19 の静脈内流量調整装置において、前記入口 (32) は前記ハウジング (28、31) の軸線に直交する平面に対して約 45 度の角度をなして配向されている、静脈内流量調整装置。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0015

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0015】

流量を手動で設定する制御ダイヤルには、KVO (静脈を開放状態に保つ) 位置、「不
作動」すなわち遮断位置のような設定状態を触覚的に表示し且つ、全流れ位置 (即ち、完全開放位置) にストッパを提供する止め具が設けられる。ダイヤルには、その設定状態が
一度び設定されたならば、ダイヤルの設定状態を誤って又は無権限で変更するのを防止す
る安全ロックが更に設けられている。ダイヤルは、ダイヤルの周りを伸びて、不動の突起
と係合して、ユーザに対し、ダイヤルを設定状態の間で手動により回したとき、触覚的フ
ィードバックが与えられるようにする。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0037

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0037】

図 4、図 7 及び図 8 を参照すると、幾つかの安全上の造作部が図示されている。制御ダ
イアル 140 は、「遮断」位置から完全開放又はパージ位置まで約 360° 回すことがで
きる。「遮断」位置を確実に表示して患者に対し低流量の流体が誤って送り出されないよ
うにするため、ダイヤルには、止め造作部が設けられる。図 4 及び図 7 に示すように、ダ
イアルの下側における円形フランジ 155 には、ランド領域 154 により接続された 2 つ
の隣接する吐出リッジ 150、152 が設けられている。リッジ 150 は、リッジ 152
よりも低い。ストッパ 160 が「遮断」位置にてハウジング 36 に設けられ、また、リッ
ジと係合可能なように配置された止め部 161 を有している。ダイヤルを「遮断」位置ま
で反時計回り方向に回したとき、リッジ 150 は止め部 161 に出会い且つストッパは遅
い位置又は KVO 位置に達したことを表示する。ダイヤルを更に回すと、止め部 161 は
リッジ 150 の上を通過して、ランド部 154 上に着座して、確実な「遮断」状態を提供
する。ダイヤルの材料は僅かに撓む。この造作部は、ダイヤルが外れないようにダイヤル
が連続的に回るのを防止する。ダイヤルを反対方向に回すと、止め部 161 は約 360°
回転して完全な開放位置にてリッジ 152 に当接する。